

1 学期始業式の言葉

校長 山田 千晶

つい先日の修了式では雪の多さについてお話ししましたが、春休み中には野球部の皆さんがスコップを持ってグラウンドの雪割りをしてくれました。おかげでずいぶん雪が少なくなってきました。日の当たる場所では、フキノトウを見かけます。新しい1年の始まりの時期となりました。

今日から皆さんは、学年が一つ上がり、それぞれの立場が変わります。2年生は中堅学年と言われる学年になります。上級生もいて、下級生もいる、難しいポジションです。先輩の行動を手本に、明日入学する1年生の良き先輩として、自覚をもって過ごしてほしいと思います。また、3年生は、最高学年となります。義務教育の最後の年となります。生徒会活動や部活動などを始め、全ての面でリーダーとして役割を果たしつつ、自分自身の義務教育終了後の生き方を決めていかなければなりません。これまでの経験を生かして、一人一人が悔いのない中学校生活を送ってほしいと思います。

今日の始業式、皆さんの心の中は、これからの学習や生活に対する希望でいっぱいになっていると思います。皆さんの希望が、自分や周りの人の成長につながる前向きなものであるならば、先生方は喜んで応援していきます。ただ、その実現には、自分自身の努力が必ず必要です。希望したことが実現するまで、自分は何もしないで待っているというのは、たとえ実現したとしても、価値のあるものとはいえません。なぜ何もしないでいるのか、その理由としては、失敗が怖いとってしまうことがあると思います。ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥さんはこう言っています。「9回失敗しないと、なかなか1回の成功が手に入らない」。先生自身の経験では、9回どころか、99回の失敗でやっと1回の成功がつかめることもたくさんあります。春はチャレンジの季節です。自分や周りの人の成長を目指して、失敗を恐れず、積極的にいろいろなことに取り組んで、成功にたどり着いてほしいと思います。

さて、今年度は真駒内曙中学校の開校50周年にあたる年となります。昭和47年に、札幌オリンピック運営本部だった建物を改修し、柏中学校と真駒内中学校から生徒を迎えて開校してから今

年の7月で満50年となります。オリンピックで世界が一つに結ばれた感動が校歌に歌われている通り、札幌市民の誇りがそのまま学校になったという歴史をもっています。開校以来、1万0069人の卒業生が巣立っていきましたが、一人一人の先輩が築いてきた伝統を、私たちは受け継いでいます。50年目だからといって、今年だけ特別に立派なことをする必要はないと思っています。ただ、50年後の後輩が、私たちと同じように希望をもった学校生活を送れるよう、今まで通り、一日一日を大切に過ごし、その積み重ねが学校の歴史になってほしいと思っています。50周年をお祝いする集会を11月にもつ予定です。また、校内体育大会や曙文化祭は、50周年記念大会として行うこととする予定です。皆さんの成長を記す行事となることを願っています。

2 年間の振り返りと

これからの目標

生徒代表

僕はこれまでの2年間、ずっと生活専門委員を務めていました。そこで2分前着席の声かけを行うことで時間への意識が変わっていきました。そして自然と時計を見るようになりました。時間を意識すると、時間に追われるような状態が減り、計画的に行動することができました。そして自分で判断する大切さに気付くことができました。

次に、これからの目標として、一つ部活動があげられます。僕は野球部に所属しており、チームで「全道優勝」という目標をかかげて日々練習を行っています。春休み中のミーティングで、チームで直すべきところを話し合いました。ここで、大会までの時間がないことに危機感をもてという声がありました。僕は、雪が完全に解けてグラウンドで練習するときに、短い期間でいかに試合に繋がるか意識して臨まなければいけないと思いました。チーム全員で頑張りたいです。

最後に、僕は3年生になり、最高学年となりました。そして真剣に自分の進路について考えなければいけない時期になりました。自分の道に進むために必要なことを目標として一つ一つのことをこなしていきたいです。学習面では、第一に手を

抜かないで取り組みたいと思います。定期テストはもちろん、日々の授業や単元テストなども手を抜かずにやりたいです。そしてどんなささいなことでもいいので、目標を決めて取り組みたいです。生活面では、身だしなみはもちろん、人間関係も大切にしていきたいです。後輩が新しくできるので、優しく接していきたいです。また、挨拶も人一倍大きくしていきたいです。

中学校生活最後の1年、仲間と協力し、悔いのないように過ごしたいです。

着任者の挨拶

教頭 川島 直之

このたび石山中学校から異動してまいりました教頭の川島です。2歳まで真駒内に住んでいて、団地の前で父に抱かれている写真が残っていますが、昨年父は亡くなり、今となってはどの団地なのかはわかりません。校舎の窓から団地を見ると、父のことを思い出します。何かの縁で生まれた土地に戻ってくることができましたので、地域のために精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

音楽科 相原 智佳

屯田北中学校から来ました。専門は声楽(歌)で歌うことが大好きです。1日から曙中で勤務をはじめ、新しい環境で不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、元気よく部活動の生徒たちがあいさつをしてくれて、そのあいさつで一気に不安がなくなりました。これからの曙中で生活が楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。

栄養教諭 田邊 あづき

育児休暇が明けて、1年10ヶ月ぶりに戻って参りました栄養教諭の田邊あづきと申します。また真駒内曙中の皆さんと一緒に毎日を過ごせることをとても楽しみにしています。久々に給食を食べるのも楽しみです。生徒の皆さん、保護者の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

よろしく
お願いします



新入学受付

4月1日(金)13時から新入生の入学受付を行いました。玄関では真新しい上靴の靴ひもを縛るのに悪戦苦闘している子や、今から緊張している子もいました。受付の後、資料の説明を行いました。真剣に話を聞く姿はとても立派でした。7日の入学式を心待ちにしている様子がうかがえました。



第50回入学式

4月7日(木)に2022年度第50回入学式を挙行します。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新入生と保護者と教職員のみの参加となっております。御理解、御了承ください。今年度は、真駒内公園小学校から37人、南小学校から42人、その他の小学校から5人、合計84人の1年生が入学を予定しています。



給食費の口座振替についてのお知らせ

2・3年生の4月分の口座振替は、

初回振替 4月27日(水)
再振替 5月9日(月) です。

4月分の引落日額は、「給食費5,250円+手数料10円」となりますので、前日までに口座へ入金をお願いいたします。5月より諸費を含めた金額を徴収いたします。引落日額については、後日お配りする学校諸費一覧表を御参考にしてください。

なお、1年生については、5月より徴収いたします。

学校便り「あけぼの」の発行について

今年度は年間8号の発行を予定しております。全校生徒への配付のほか、1号(1学期始業式)、2号(4月下旬)、5号(2学期終業式)、7号(卒業式)、8号(修了式)は地域の方へお配りします。学校HPへは毎号掲載いたします。